

魅力ある 水辺空間

7月25日(火)

13:30 ~ 17:00

(受付: 12:00 ~)

会場: ヤクルトホール

参加無料

定員 500名

(誠に勝手ながら事前申込み・
先着順とさせていただきます)



多自然川づくり、これからの軌道

オープニング

13:30	開会	国立研究開発法人土木研究所理事	山口 嘉一
13:35	来賓挨拶	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長	森川 幹夫
13:40	趣旨説明	国立研究開発法人土木研究所	萱場 祐一
13:55	提言の説明	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課	田中 孝幸

第一部 基調講演 (14:10 ~ 14:50)



風景デザインから見た水辺空間の可能性

星野 裕司 氏

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
准教授
博士(工学)

第二部 研究・事例発表 (15:05 ~ 15:50)

15:05 ~ 15:20 水辺拠点整備の考え方

国立研究開発法人土木研究所 鶴田 舞



15:20 ~ 15:35

上西郷川における川づくり

林 博徳 氏

九州大学大学院環境社会部門 助教
博士(工学)

15:35 ~ 15:50 河川用護岸ブロックのテクスチャーについて

公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会 尾崎 正樹

第三部 パネルディスカッション (15:50 ~ 16:45)

パネリスト 岡田 一天 氏 (株) プランニングネットワーク

吉村 伸一 氏 (株) 吉村伸一流域計画室

星野 裕司 氏 熊本大学

林 博徳 氏 九州大学

コーディネーター 萱場 祐一

16:45 閉会挨拶 公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会会長 本間 丈士

今年は、平成9年の河川法改正から20年になります。

6月には、河川法改正20周年多自然川づくり推進委員会より「持続性ある実践的多自然川づくりに向けて」が提言されました。

そこで、本シンポジウムでは、今後の多自然川づくりが進むべき具体的な方向を議論するとともに、魅力ある水辺空間を再生する上での具体的な課題と解決に向けた方策を明確にしたいと思います。具体には、

- 空間的に広がりのある水辺拠点の空間整備手法
- 都市河川における水辺空間の整備手法
- 水辺空間を再生する際の河川用護岸ブロックの活用方法

について、事例を交えて議論します。

会場アクセス

JR 新橋駅
「銀座口」徒歩3分
都営浅草線 新橋駅
「汐留1番出口」徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅
徒歩5分
東京メトロ銀座線 新橋駅
「2番出口」徒歩2分
新交通ゆりかもめ 新橋駅
徒歩3分



お申込方法

E-mail: info@cba.or.jp

参加者氏名、所属、連絡先(TEL等)を明記の上
E-mailにてお申し込みをお願いいたします。

お問合せ先

TEL: 03-5689-0491

公益社団法人 全国土木コンクリートブロック協会
〒133-0033

東京都文京区本郷 3-17-13 本郷タナベビル

の再生を目指して！

主催

国立研究開発法人 土木研究所
自然共生研究センター

共催

公益社団法人
全国土木コンクリートブロック協会

後援

国土交通省



土木学会認定 CPD
プログラム(3.3単位)